

# 地域の活動事例

団体名	東六郷一丁目町会																																																		
テーマ	「災害時要援護者」支援体制の整備と居住外国人への防災の取り組みについて																																																		
内容	<p>○支援体制の立ち上げ</p> <p>① 町内全域への啓発活動</p> <p>災害時要配慮者支援名簿が存在しなかった時期から、町会の各班長を中心とし、要配慮者の方々に対する個別訪問を実施し、身体状況、家庭の状況、有事の際に支援してくれる人は誰かといった調査・把握に努めてきた。</p> <p>調査結果を基に、要配慮者の方々に対する救助者を選定し、誰がどのようにどういった手段で救助するのか等を決定していき、同時に要配慮者の方々の名簿を独自に作成し活用していく取り組みを実施した。</p> <div data-bbox="354 869 1449 1574" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">(資料1)</p> <p style="text-align: center;">災害弱者、再度の調査のお願い</p> <p>日頃は町会運営にご協力頂き誠にありがとうございます。さて日本の国は長寿世界一になり大変名譽なことですが、しかし高齢化社会を迎え高齢者への対応が問題化されて居ります。最近 町内で高齢者を相手の犯罪や一人住まいの老人の孤独死など取沙汰されております。</p> <p>町会では平成四年から、災害弱者の支援活動を進めており、軌道に乗ってきておりますが、毎年の調査で漏れている方がまだ大勢いらっしゃいます。再度、災害弱者の調査をお願いしたいと思いますので、別紙資料にご記入の上、町会へ提出して頂く様お願い致します。</p> <p style="text-align: center;">(記)</p> <p>●期日 平成十七年四月五日まで 常任理事さんは地区の班長さんから期日までに提出頂き、町会へお届け下さい。</p> <p style="text-align: center;">平成十七年三月十九日 東六郷一丁目町会 会長 中島寿美</p> <p style="text-align: center;">防災防火部 牧野良治</p> <p>＊尚、別紙救助要員の募集も同時実施したいと思っておりますので、適任者の推薦も重ねてお願いいたします。</p> <p>常任理事 各班長 各位</p> </div> <p style="text-align: center;">(資料3)</p> <p style="text-align: center;">平成15年9月 東六郷一丁目町会 災害時救護者一覧表 (災害弱者) &lt;一部抜粋&gt; 緊急度A (軽) B (中) C (重)</p> <table border="1" data-bbox="507 1666 1248 2101"> <thead> <tr> <th>区・班</th> <th>氏名</th> <th>年齢</th> <th>住所</th> <th>電話</th> <th>家族構成</th> <th>状態</th> <th>記事</th> <th>緊急度判別</th> <th>防火診断有無状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-4</td> <td>○△ □○</td> <td>83</td> <td>東六郷・・・</td> <td>・・・</td> <td>一人暮らし</td> <td>ゆっくり歩行 正常な判断不可</td> <td>土日(昼間) 長男付き添い</td> <td>星・・・A 夜・・・B</td> <td>(新)</td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>□○ ○△</td> <td>81</td> <td>東六郷・・・</td> <td>・・・</td> <td>夫婦二人暮らし</td> <td>ギランバレイ 産後 歩行難 難聴中度 杖使用</td> <td>専用車椅子 火災報知器有</td> <td>星・・・B 夜・・・C</td> <td>特に変わりなし</td> </tr> <tr> <td>1-6</td> <td>○○ □□</td> <td>77</td> <td>東六郷・・・</td> <td>・・・</td> <td>夫婦二人暮らし</td> <td>慢性腰痛 整形外科通院 (主人の介護が大家)</td> <td>主人の介護 ヘルパー週 2回</td> <td>星・・・B 夜・・・C</td> <td>特に変わりなし</td> </tr> <tr> <td>2-6</td> <td>□□ ○○</td> <td>84</td> <td>東六郷・・・</td> <td>・・・</td> <td>一人暮らし</td> <td>心臓病 術後5年 (日常生活は 不自由なし)</td> <td>ヘルパー週3 回 娘夫婦時々訪問</td> <td>星・・・A 夜・・・B</td> <td>特に変わりなし</td> </tr> </tbody> </table>	区・班	氏名	年齢	住所	電話	家族構成	状態	記事	緊急度判別	防火診断有無状況	1-4	○△ □○	83	東六郷・・・	・・・	一人暮らし	ゆっくり歩行 正常な判断不可	土日(昼間) 長男付き添い	星・・・A 夜・・・B	(新)	1-5	□○ ○△	81	東六郷・・・	・・・	夫婦二人暮らし	ギランバレイ 産後 歩行難 難聴中度 杖使用	専用車椅子 火災報知器有	星・・・B 夜・・・C	特に変わりなし	1-6	○○ □□	77	東六郷・・・	・・・	夫婦二人暮らし	慢性腰痛 整形外科通院 (主人の介護が大家)	主人の介護 ヘルパー週 2回	星・・・B 夜・・・C	特に変わりなし	2-6	□□ ○○	84	東六郷・・・	・・・	一人暮らし	心臓病 術後5年 (日常生活は 不自由なし)	ヘルパー週3 回 娘夫婦時々訪問	星・・・A 夜・・・B	特に変わりなし
区・班	氏名	年齢	住所	電話	家族構成	状態	記事	緊急度判別	防火診断有無状況																																										
1-4	○△ □○	83	東六郷・・・	・・・	一人暮らし	ゆっくり歩行 正常な判断不可	土日(昼間) 長男付き添い	星・・・A 夜・・・B	(新)																																										
1-5	□○ ○△	81	東六郷・・・	・・・	夫婦二人暮らし	ギランバレイ 産後 歩行難 難聴中度 杖使用	専用車椅子 火災報知器有	星・・・B 夜・・・C	特に変わりなし																																										
1-6	○○ □□	77	東六郷・・・	・・・	夫婦二人暮らし	慢性腰痛 整形外科通院 (主人の介護が大家)	主人の介護 ヘルパー週 2回	星・・・B 夜・・・C	特に変わりなし																																										
2-6	□□ ○○	84	東六郷・・・	・・・	一人暮らし	心臓病 術後5年 (日常生活は 不自由なし)	ヘルパー週3 回 娘夫婦時々訪問	星・・・A 夜・・・B	特に変わりなし																																										

# 地域の活動事例

## ② 活動から見えてきた諸課題

要配慮者支援名簿が自治会・町会に配布されても、各町会でどのように取り扱えば良いかノウハウがなく、対応に苦慮している地域が多い。

従来から、災害時要援護者対策に取り組んできていた地区においても、以前の一人暮らし高齢者だけでなく、障害のある方など、その対応に専門的な知見が必要な援護者も名簿に登載され、対応に苦慮している。

また、名簿の配布が始まった初期の頃は、名簿に掲載されている情報と実際の状況とが相違していることが多かった。現在ではそうした「情報の相違」は、ほとんどなくなってきているものの、名簿の精度に関しては事あるごとに見直していかなくてはならない課題であるように思える。

## ○居住外国人の参加する防災訓練の取り組み

昨年町会内で実施した防災訓練では、外国人の参加者 48 名、地震の多発する日本の防災のあり方を地域の方と共に知ってもらって、「自分の命は自分で守る」術 (すべ) を会得 (えとく) してもらうことを目的として呼びかけを実施した。

英語、中国語、タガログ語、3 か国語のチラシ、ポスターを作成し、六郷地区外国人の経営する飲食店、外国人を雇用している企業を訪れ周知、また地域に在住する外国人家庭などにも役員が呼びかけを行った。

訓練実施後には、餅つきによる炊出しを実施し、地域活動への外国人の参画を促す良いきっかけづくりとなった。

## ○名簿を有効に活用していくための提言

### ①名簿作成の精度を高める。

作成する際に、対象者にその内容を詳しく説明して、作成すること。支援を希望するかしないかの有無や、転出、死亡など情報を精査する。

### ②区の関係機関との連携をとる。

特に、障害者世帯に関しては、区の地域福祉課や福祉施設と連携をとり、町会に何ができるのか、何をしてもらいたいのかを検討をしてから作成、依頼する。

③以上の提言をクリアした上での精度の高い名簿を元に、自治会・町会の力を必要としている援護者を支援していく体制をつくる。

October 2018

## Emergency drill & rice cake pounding event

The theme of this event is Emergency drill. "Protecting yourself, your family and friends in case of emergencies such as an earthquake or a fire". It is important to come together with your neighbors and friends who live in the same area to practice necessary action in case of disaster. Everyone can participate, please come to this event and get involved. After the emergency drill is over, please stay and enjoy the rice cake pounding party.

Date: October 28, 2018 (Sunday) Time: 10:00-13:00  
Venue: Higashi Rokugo 1-chome Park (Ota-ku, Higashi Rokugo 1-14)  
In case of rain: Ota Shoyuen Exchange Center (Ota-ku, Higashi Rokugo 1-12-11)  
TEL: 03-3736-1271

Meeting place: The Exit of Keikyu Kamata Station (It's not JR Kamata Station)  
Meeting time: 9:15 am

Activities:

(1) Emergency drill

- Practice dialing 119 (emergency call)
- Initial fire response using street hydrants
- How to prevent furniture from falling over
- Explanation of residential fire alarm systems and their installation
- Practice giving aid to the injured by disasters

(2) Rice cake pounding party

Please enjoy cross-cultural communication through experience of pounding  
A limited amount of small gifts will be provided.  
Transportation expenses will be provided 1000 Yen (for only international guests).

Inquiries:  
Higashi Rokugo 1-chome Local Town Association  
Coordinator: 湯浅 真由美 (Yoshizumi Mami) (Bosaboka-bu)  
TEL: 03-3731-4535

